

戦いへの知恵を秘めた美しい仕掛け

門

複数の門、そして櫓門が姫路城の入口を防御している。21 の現存する門は安土桃山時代（1568-1603）の優美な建築様式で建造されており、城が攻撃を受けた際は、城の中心部の生活空間へ敵が直接侵入することを防いでくれる。門の狭くなった入口のいくつかは、2 人がやっと収まるくらいの幅で、敵を危険なボトルネックに追い込む（敵はこの守備側にとって有利な、狭くて危険なスペースを通らなければならない）。